

編 集 後 記

中国、武漢発祥の新型コロナウイルスも第5波のあとは終息の傾向を見せ、ようやく世の中が元通りになる兆しが見えてきました。と思ったら、オミクロン株の出現によりまた予断を許さなくなりました。しかしながら、ワクチンは有効のようです。mRNAワクチンを開発した先生方には感謝申し上げたいものです。医学研究の成果です。

さて、私事で恐縮ですが、昨年年始に脳出血（右被殻出血）を患い開頭手術を受けました。この2年間は私にとっては人生の「緊急事態宣言中」でした…病気の後遺症で現在も左片麻痺です。というわけで手術に携わることができなくなってしまいました。幸い命に別状はなく、高次脳機能は保たれているようですので外来、病棟管理などの仕事で復職しました。そして、少しずつ調子が出てきたので論文を書き始めました。英語で論文を書いてAnnals of Thoracic SurgeryとEuropean Journal of Cardio Thoracic Surgeryに投稿し、一つはacceptされました。ここで思ったことが一つ、経験と知識は裏切らないということです。論文を書いて医学の発展の一助にでもなればと考えています。

よく「私は臨床中心で仕事をしてて論文が少ないんです」と自慢げに言う先生がおられます。それは言い訳です。単に論文執筆能力=科学的思考能力が欠如しているだけです。そういう人はいい臨床はできません。開頭手術を1年間で3回も受けた私ができるのですから、そういう言い訳はせずに特に若い先生には論文を書いてほしいものです。人間は脳をフル回転で使っている生物であって、それが医学の発展をもたらしたのです。ちなみに脳科学の世界ではAIは人間の脳には勝てなくて自動車の自動運転は無理だと考えられているそうです。「よく考えて」論文を書いてください。

(坂本貴彦)